令和8年度11月～3月　部活動の活動方針

千葉市立幕張本郷中学校
校 長 名　　酒井 隆夫

教 育 目 標	学校教育目標「文武両道　～逞しくしなやかに～」 【部活動の教育的意義】 　部活動は、生徒がスポーツや文化及び科学等に親しみ、学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の向上に結びつくものとして、学校教育の一環として行われるものである。 　本校の教育目標に基づき、生徒個々の持つ趣味・特技・志向を集団の場で追求し、生徒個々の体力や技量の向上を図る。また、生徒相互の切磋琢磨を通して、友情を育てるとともに、忍耐力、統率力等、人格形成に必要な力を高める。
部 活 動 の 基 本 方 針	(1)適切な指導 　①顧問は、担当する部の特性等を踏まえ、合理的かつ効率的で効果的な活動となるよう工夫する。 　②過度な練習や行き過ぎた指導にならないよう、日頃から十分注意するとともに、言葉の暴力を含む体罰の根絶を徹底する。 (2)学期中、長期休業中の適切な活動時間 　①1日の活動時間を、月～金(祝日を含まない)は朝練習を含む1日2時間程度、休日(土日及び祝日)は3時間程度の基準とする。 　②週当たり(土～金曜日)の活動時間は、11時間程度の範囲内(朝練習や地域クラブ活動を含む)とする。 　③週2日以上の休養日を設定する。月～金(祝日を含む)で1日以上、土日どちらかで1日以上を休養日とすることを基準としている。 　④土日に2日間連続して大会等に参加した場合は、翌週の他の日に休養日を振り替える。 　⑤生徒が十分な休養を取り、部活動時間以外にも多様な活動を行うことができるよう、閉庁日に基づきオフシーズンを設ける。 　⑥生徒の学習時間の確保ができるよう、定期試験7日前から部活動停止期間とする。ただし、大会等の場合は、保護者の同意を得た上で、校長の許可を得て活動する場合もある。 　⑦千葉市教育研究会の日は、千葉市一斉の休養日として、朝練習と放課後練習ともに部活動を行わない。 (3)事故防止 　①顧問は指導に当たる際、各生徒の安全を第一に考え、けがや事故等の発生及び予防に十分注意して活動する。 　②熱中症の予防については、十分な健康観察を行うほか、WBGT計測器を活用し、「熱中症対策マニュアル」に基づいた対応を行う。また、けが等が発生した場合は、迅速かつ適切に、保護者や医療機関と対応し、管理職や養護教諭への報告・相談を行う。 　③雷鳴が聞こえた場合、屋外での活動はすぐに中断し、屋内に避難する。活動の再開は雷雲通過後、30分を目安とする。 (4)その他 　①顧問は、年間活動計画並びに毎月の活動計画・実績報告を作成し、校長へ提出し、生徒・保護者にも周知する。 　②顧問は、年度始めの保護者会等で、学校全体の目標や方針、各部活動の目標や方針、計画等について説明し、理解を得ながら活動する。 　③「大会参加のため」の練習や練習試合を可能とする場合は、大会当日から起算して2週間前から認める。土日連続しての活動を認めた場合は、休養日を振り替え、週あたりの活動時間は11時間程度の範囲内とする。